



### コンテンツ一覧

◆教授就任のごあいさつ

## ◆教授就任のごあいさつ◆



整形外科・脊椎外科学講座

教授 岩淵 真澄

(いわぶち ますみ)

出身地 福島県

出身大学 福島県立医科大学

就任 令和3年4月1日

私儀、4月1日付けを持ちまして整形外科・脊椎外科学講座教授拝命致しました。2010年9月に前身の福島県立医科大学会津医療センター準備室に所属させていただいて以来、2013年の会津医療センター開設を経て現在に至るまで、白土教授と共に診療・教育・研究に一心不乱に取り組んで参りました。整形外科領域の中でも特に脊椎脊髄外科に関しましては、われわれの努力の甲斐あって、その手術件数が県内随一となる事が出来ました。その他にも福島県立医科大学医学部整形外科講座との連携による関節外科手術も着実にっております。また、保存療法としてのリハビリテーションに関しましても、リハビリスタッフによる研究結果に基づく独自の運動療法を開発・実践しております。

会津地域は高齢社会が進んでおり、当院へ搬送される骨粗鬆症性骨折患者が後を絶ちません。このような会津地域における骨粗鬆症性骨折の一次ならびに二次予防の重要性を認識した私は、2015年に「骨粗鬆症専門ケアチーム」を立ち上げました。そこで、骨粗鬆症に関する業務を専門的に行うためのスタッフである、日本骨粗鬆症学会認定骨粗鬆症マネージャーを養成し、現在は骨粗鬆症マネージャーの数が県内最高の9名となっております。内訳は看護師4名、理学療法士2名、作業療法士1名、薬剤師2名です。私自身も骨粗鬆症マネージャーの活動を指導するために、令和元年に日本骨粗鬆症学会認定の骨粗鬆症認定医を取得しております。「骨粗鬆症専門ケアチーム」の主な活動としては、1. 骨粗鬆症マネージャーによる骨粗鬆症患者発見のための検診外来である、「ほね元気外来」の運営、2. 入院患者に対する介入、および、3. 骨粗鬆症診療に関する地域連携活動、です。特に、2. の入院患者に対する介入に関しては、整形外科と血液内科の入院患者に対しスクリーニングを行い、骨粗鬆症患者を発見し治療を開始する事で、介入を受けた患者の新規骨折例や、骨粗鬆症性骨折患者の再骨折例を出していないという実績を上げております。

最後になりましたが、これらの実績を礎としまして、今後も地域医療に全力を尽くす所存でございます。どうか今後も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。